

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



金婚を迎えたご夫婦に褒状を贈呈



上野武雄さん・八重子さんご夫婦

11月25日、めでたく結婚50周年である金婚を迎えられたご夫婦のお宅へ、村長と村社会福祉協議会事務局局長が訪問し、お祝いの言葉とともに村社会福祉協議会から褒状と記念品を贈りました。訪問したご夫婦のうち、上野武雄さん・八重子さんご夫婦から直接お話を伺いました。夫婦円満の秘訣は「お互いに言いたいことは伝え、長引かせない。思う事は溜めず、その都度消化するようにしている」とのこと。健康面では定期的な健診を意識して、身体に気を付けているそうです。また、家庭菜園で楽しみながら野菜を作り、スムージーにして毎日飲んでいると話してくれました。

それぞれの自宅で、村長らを笑顔で迎えてくださった皆さん。談笑する中で、これまで支え合った50年を顧みていらつしやいました。このたびは金婚おめでとうございます。

U-12サッカー選手権 茨城県大会でベスト8



フリーダムサッカークラブは11月8日から22日に県内各会場において開催された、第44回全日本U-12サッカー選手権茨城県大会に出場し、この大会初のベスト8という好成績を収めました。

コロナ禍での大会開催となり、万全の感染対策をしての大会となりましたが、県大会への出場権を争う県南大会をブロック1位で勝ち上がり、県大会でも選手たちは大活躍。手強い相手との激戦を経験し、選手も、チームも一段とたくましく成長することができました。

今後ますますの活躍が期待されますね。

美浦中学生徒による 朗読ボランティア



12月1日、4日に、美浦中学校の生徒有志により毎月実施している、広報みほの朗読ボランティアの取材に美浦中学校を訪れました。

朗読の収録会場となっている部屋の中では、誰もが気軽に参加ができるようなアットホームな雰囲気でありながらも、収録を始めると真剣な眼差しに切り替わり、生徒たちは事前の練習の成果を発揮していました。参加した生徒に話を伺うと「周りから朗読の技術が付いたと言ってもらえると嬉しい。」と話してくれました。この活動の輪が広がり、社会貢献につながることを期待されますね。

人命救助活動で 感謝状贈呈



11月19日、木原小学校教務主任の根本康志先生が、人命救助に貢献したとして、永沼義道稲敷警察署長から感謝状が贈呈されました。

自宅近くの川沿いでランニングをしていたところ、「助けて」という叫び声が聞こえたので近づいてみると、溺れている男性を発見。近くにいた通行人に110番通報するようになり、男性が沈まないよう腕をしっかりと掴み、励まし続けました。その後、駆け付けた警察署員らによって男性は救助されました。

根本先生は、「まわりの方や警察署の方など、皆さんのおかげ。溺れた方も軽症で良かったです」とその時の様子を語ってくれました。

頼もしい先生がいて、児童たちはとても心強いですね。

祝

おめでとう 美浦所属馬 GI 優勝！



第37回 マイルチャンピオンシップ グランアレグリア号



藤沢和雄 調教師



渡部貴文 調教助手

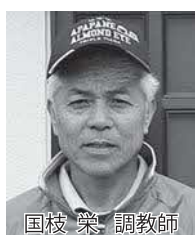
11月22日、阪神競馬場（1600m・芝コース）で行われた、第37回マイルチャンピオンシップにおいて、美浦トレーニング・センター藤沢和雄厩舎所属のグランアレグリア号が優勝しました。

今レースも多くファンからの揺るぎない人気を背負ってのレースとなりました。ゲートが開き各馬一斉にスタートを切ると、先頭集団でレースを進める。最終コーナーを回るまでそのままレースは進み、最後の直線に入るとライバルたちに前方を塞がれサポートをかけられずにいたが、少しのスペースを見つけ抜け出すと一気にスピードをあげ、前方で競り合うライバルたちをあっという間に抜き去り先頭でゴール。見事優勝しGIレース3連勝を果たしました。

グランアレグリア号の厩務を担当する渡部貴文調教助手は、「阪神競馬場も慣れているし、前日入りしてとても落ち着いてレースに臨むことができました。モニターでレースを見ていましたが、前が塞がっていて正直厳しいかなと思いました。先頭でゴールしてホッとしました。」とのことでした。また、今後の抱負を伺うと、「グランアレグリア号に無事に競走馬として全うして欲しいです。女の子でもあるのでケガ無く、美浦を代表する馬として競馬界をけん引していきたいです。」と力強く語ってくれました。GIレース3連勝を果たしたグランアレグリア号の今後のますますの活躍が楽しみです。

第40回 ジャパンカップ

アーモンドアイ号



国枝 栄 調教師



根岸真彦 調教助手

11月29日、東京競馬場（2400m・芝コース）で行われた、第40回ジャパンカップにおいて、美浦トレーニング・センター国枝栄厩舎所属のアーモンドアイ号が優勝しました。

このレースが引退の舞台となるアーモンドアイ号は、強力なライバル達が揃った今レースでも多くのファンの人気を集めました。ゲートが開き、好スタートを切ると先行集団でレースを進める。各馬とも中盤を順調に進め、勝負は最後の直線へ。後方から迫る強力なライバル達を突き放し、粘りをみせ前方を走る2頭を抜き去り先頭でゴールを駆け抜け、見事優勝。9つ目となるGIタイトルを手中に収めました。

アーモンドアイ号の厩務を担当する根岸真彦調教助手は、「前レース(天皇賞)からの間隔が、中3週間と短かったのでテンションが上がり過ぎないようにと心掛けていましたが、いつも通りといった感じでした。強力なライバルたちが揃った、最後のレースという大舞台で最高の走りを見せてくれました。私にとって、この馬に携わることができたことは非常に良い経験ができ、宝物となりました。これからもこの経験を活かしていきたいです。」と語ってくれました。根岸さん、これからも頑張ってください。そして、「有終の美」を飾ったアーモンドアイ号。今後、レースで走る姿を見ることができないのは残念ですが、美浦から歴史に名を刻む名馬が誕生しました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。
なお、掲載している写真については、昨年の取材時に撮影させていただいたものを使用しております。